

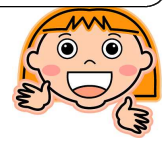
授業改善のポイント 第4学年

* 話題に沿って必要な事柄を集め、選択する力を付ける

必要に応じて取材メモを書く

書く目的や伝える相手を明確にして取材させるようにしましょう。取材中にメモする時は、必要な情報を体言止めや短い言葉で書くことを指導しておきましょう。また、取材メモは、一つの事柄について一つのカードに書くなどすると、まとめる際に便利です。

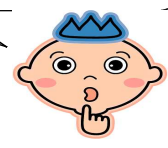
体言止めや短い言葉で書くといいのね。
一つの事柄について一つのカードに書くと、まとめるとき便利なのね。



取材メモを整理・分類し、必要なメモを選択する

メモを内容別に分類し、共通点を見つけさせると、メモが整理され、より自分の伝えたいことに焦点を絞ることができます。課題設定の際に決めたテーマに直接関係のないメモは使わないなど、適切な取捨選択をするには、メモの整理・分類がとても大切です。

「一番伝えたいこと」はどれかな。伝えたいことと関係ないメモもあるな。



㊦ その他の工夫	㊧ 小さな子ども のことを考えた工夫	㊨ 体の不自由な人やお年寄りの ことを考えた工夫
<p>㊦ サービス</p> <p>ATM(エーティーエム)でお金を引き出すことができたり、毎週火曜日は安売りの日。</p> <p>㊧ リサイクルコーナー</p> <p>ペットボトルや食品トレーなどのリサイクルボックスがある。</p>	<p>㊧ カート</p> <p>小さな子ども用のキャラクターの形のカートがある。</p> <p>赤ちゃんせん用のカートにひざかけもふがある。</p> <p>㊨ 子ども広場</p> <p>子ども広場で小さな子どもが遊べる。</p> <p>テレビでアニメを見ることができ「アニメコーナー」がある。</p>	<p>㊨ ちゅう車場</p> <p>店の入り口近くに体の不自由な人のためのちゅう車場がある。</p> <p>スロープがあり、車いすをりようして人など、体の不自由な人が入りやすい。</p> <p>㊨ トイレ</p> <p>多目的トイレは広く、手すりがついている。</p> <p>車いすをりようしている体の不自由な人や、お年よりなどが使いやすい。</p>

これは「使う人の事を考えた工夫」というテーマに合わないから、必要ないな。



㊨と㊧は、テーマに合っているからどれを選んでもよさそう。㊨からは㊦を選ぼう。㊧からは㊧を選ぼう。

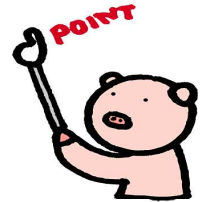
必要な資料を取捨選択

*** 段落の役割を理解し，文章を構成する力を付ける**

内容のまとめりとして段落をとらえて書く

【組み立て表を使った紹介文の指導】

- ①文章全体における段落の役割や，段落相互の関係を指導する。
- ②「始め－中－終わり」の三つのまとめりを意識させる。
- ③「中」には，自分の考えに該当する事例をいくつか挙げる。
- ④「終わり」は，「始め」と「中」の両方に提示された話題に触れながらまとめる。



《組み立て表》

終わり	中		始め
4 段落	中 2 (3 段落)	中 1 (2 段落)	(1 段落)
<p>《まとめ》</p> <p>このように、スーパー丸山には のことを考えたくふうがあります。</p>	<p>一つ目のくふう から一つ</p>	<p>一つ目のくふう から一つ</p>	<p>《しようかいすること》</p> <p>スーパー丸山の「使う人のことを考えたくふう」について</p>
<p style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">スーパー丸山の「使う人のことを考えた工夫」には、どのようなものがあるか、事例をいくつか示す。</p>			

↓	↓	↓	↓
<p>このように、スーパー丸山は体の自由な人や小さな子どもを考えたくふうがあります。</p>	<p style="text-align: center;">使うメモ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>④ 子ども広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども広場で小さな子どもが遊べる。 ・ テレビでアニメを見ることのできる「アニメコーナー」がある。 </div>	<p style="text-align: center;">使うメモ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>⑤ ちゅう車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 店の入り口近くに体の自由な人のためのちゅう車場がある。 ・ スロープがあり、車いすをりようして人など、体の不自由な人が入りやすい。 </div>	<p>スーパー丸山の「使う人のことを考えたくふう」をしようかいたします。</p>

「終わり」の指導

文章全体をまとめる大切な段落です。「始め」の部分の繰り返しで終わらないよう、「始め」と「中」の段落で提示された話題に触れながら、全体をまとめるようにします。

「中」の指導

自分が伝えたいことの具体的な例や根拠となる事柄をいくつか取り上げるようにします。

「始め」の指導

何を伝えたいのかが分かるように、話題の提示をします。

* 資料を活用して記述する力を付ける

メモの内容を文章化する

メモを文章化するには、文章表現のきまりをしっかり指導し、相手や目的に応じ、工夫してまとめさせるようにします。

【メモを文章化の際の指導】

- ①文のまとまりごとに（話題が変わったら）改行し、一字下げで書き始める。
- ②段落の最初にその段落で伝えたい内容を一文で書き、その後具体的な事例を書く。
- ③接続詞等の言葉を加えたり、文末を揃えたりして、相手に分かりやすいよう工夫する。

〔指導①〕

組み立て表の「始め一中1一中2一終わり」のように、話題が変わった時に改行し、一字下げで書き始める。

《紹介文の一部》

一つ目は、体が自由な人のことを考えたかふうです。店の入り口近くに体の自由な人のためのちゅう車場があります。スロープがあり、ベビーカーや車いすをりようしている人など、体の自由な人が入りやすくなっています。

《メモ》

① ちゅう車場

- ・ 店の入り口近くに体の自由な人のためのちゅう車場がある。
- ・ スロープがあり、車いすをりようしている人など、体の自由な人が入りやすい。

〔指導③〕

接続詞等の言葉を加えて、相手に伝わりやすいよう工夫する。

「一つ目は・・・」

「はじめに・・・」

「例えば・・・」

「このように・・・」など。

〔指導③〕

文末を目的に合わせて揃える。

〔指導②〕

段落の最初にその段落で伝えたい内容を一文で書く。

メモをそのまま写すだけじゃないのか。



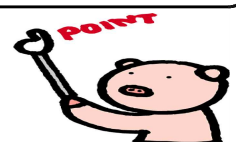
字数や時間の制限の中で書く経験を重ねる

【制限を設けて書かせる際の指導】

「始め一中一終わり」の三つのまとまりで書く経験を年間の中で数回もつようにしましょう。

書くことに苦手意識をもつ子へは、字数ではなく文の数を示したり、まとまりごとに線が入った用紙を使うなど、工夫して指導しましょう。

4年生は15分で300字程度にまとめることをめあてにしましょう。



* 目的に応じて、文章を見直す力を付ける

紹介文として整った文章にする



適切な表現って、
どういうことなの
かな。

《推敲後》

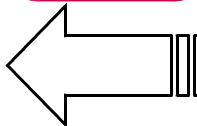
【推敲の指導】

- ①一つの段落にひとまとまりのことが書かれているか。
- ②主語と述語及び修飾と被修飾の関係が明確か。
- ③漢字や助詞などの、表記上の誤りはないか。
- ④文末表現（敬体・常体）が揃えられているか。
- ⑤相手や目的に応じて、伝えたいことが明確になっているか。

《推敲前》

ぼくたちは、スーパー丸山の「使う人のことを
考えたたくふう」をしようがいたします。
一つ目は、体がふ自由な人のことを考えたたくふ
うです。店の入り口近くに体のふ自由な人のため
のちゆう車場があります。スロープがあり、ベビ
ーカーや車いすをりようしている人など、体のふ
自由な人が入りやすくなっています。
二つ目は、小さな子どものことを考えたたくふう
です。（以下省略）

まず自分で読
み直す習慣を身
に付けさせまし
よう。



次に、友達に読んでもらい、
自分で気付かない誤りを指摘
してもらいなどし、推敲を重
ねていきましょう。

ぼくたちは、スーパー丸山の「使う人のことを
考えたたくふう」です。
一つ目は、体がふ自由な人のことを考えたたくふ
うです。店の入り口近くに体のふ自由な人のため
のちゆう車場がある。スロープがあり、ベビーカー
や車いすをりようしている人など、体のふ自由
な人が入りやすくなっています。二つ目は、小さな
子どものことを考えたたくふうです。（以下省略）

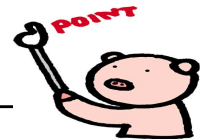
話題が変わっているのに、
段落が分けられていない。

敬体と常体が混
在している。

主語と述語の関
係がねじれている。

読み手の立場になって考え読み直させる

よりよい表現に書き直すためには、「相手や目的に応じ
ているか」、「自分の考えを明確に記述しているか」などか
ら、表現を検討することが必要です。自分が書いた文章を、
読み手の立場になって考えながら読み直させることが大切
です。



低学年から文章を読み返
す習慣を付け、間違いを正
したりよりよい表現に書き
直したりする場面を意識し
て設けましょう。